

第64回東京都理容競技大会 競技要項

- 【日時】 令和4年5月10日（火） 午前11時 開会予定
【会場】 LINE CUBU SHIBUYA(渋谷公会堂)
【主催】 東京都理容生活衛生同業組合
【後援】 東京都（予定）
渋谷区（予定）
公益財団法人東京都生活衛生営業指導センター

【大会要項】

1. 日 時 令和4年5月10日(火) 11時30分 競技スタート予定
2. 会 場 LINE CUBU SHIBUYA(渋谷公会堂)
渋谷区宇田川町1-1 電話03-5457-3304
主な交通機関 JR山手線他「渋谷駅」徒歩13分
JR山手線「原宿駅」徒歩13分
東京メトロ千代田線・副都心線「明治神宮前駅」徒歩13分

3. 競技種目

- 1 部 フェード・フリースタイル
美しい色彩を主体とした、世界的なトレンドを感じさせる男性らしいフェードヘアスタイル。
- 2 部 レディースカット・トレンドリアクティブスタイル
ヘアカラーを効果的に取り入れた、活動的な印象を与える実用性の高いレディースヘアスタイル。
- 3 部 ワールドヘア in Japan 2022 「D's」
パーマ、カラーリングを効果的に取り入れ、「D's」が提案するダンディズム&セクシーな雰囲気
を表現したスタイル。
- 4 部 Gender-free & Generation-Z ※人間モデル
全理連トレンド研究室から発信されている2022年トレンド情報を基にZ世代を対象とした
ジェンダーレスなシティスタイル。
※全理連のHP「組合員のページ」から入り「トレンド情報NEXT16」をチェックしてください。
(パスワードはtenbo1951)
- 5 部 クラシカルカット・ドライヤーセット
クラシカルスタイルに梳かされ、シルエットは全体にスクエアラウンドであり、後頭下部に
充分な刈り上げ(ボカシ)があり、耳周りおよびネックラインがはっきりついているスタイル。
- 6 部 フリーデザイン・ボブカット
段差のないボブスタイルで、カットラインとバランスの美しさを表現する

4. 競技時間

- | | |
|---------------------------------------|---------------|
| 1 部 フェード・フリースタイル | カット・スタイリング35分 |
| 2 部 レディースカット・トレンドリアクティブスタイル | カット・スタイリング35分 |
| 3 部 ワールドヘア in Japan 2022 「D's」 | カット・スタイリング35分 |
| 4 部 Gender-free & Generation-Z ※人間モデル | カット、スタイリング30分 |
| 5 部 クラシカルカット・ドライヤーセット | カット・セット45分 |
| 6 部 フリーデザイン・ボブカット | カット・セット45分 |

5. モデル(マネキン)

(1)各部門とも下記に規定されたものとし、選手が持参するものとする。

- 1 部 フェード・フリースタイル
- ①モデルはメンズマネキン(マネキンは国産メーカーのものに限る・品番等は自由)。
 - ②ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること。
(但し、刈り上げ部分の長さは1cm以上あること)
 - ③ヘアカラーは自由。
 - ④マネキンの底以外に、氏名等を書き込まないこと。
 - ⑤カット以外の事前処理は自由。

2部 レディースカット・トレンドイアクティブスタイル

- ①モデルはレディースマネキン(マネキンは国産メーカーのものに限る・品番等は自由)。
- ②ヘアは総体的にブラント状態が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること。
- ③競技事項に定めるヘアカラーを施していること。
- ④マネキンの底以外に、氏名等を書き込まないこと。
- ⑤カット以外の事前処理は自由。

3部 ワールドヘア in Japan 2022 「D's」

- ①モデルはメンズマネキン(マネキンは国産メーカーのものに限る・品番は自由)。
- ②ヘアは総体的にブラント状態が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること。
- ③「D's」が提案するパーマが施されていること。
- ④「D's」が提案するヘアカラーが施されていること。
- ⑤マネキンの底以外に、氏名等を書き込まないこと。
- ⑥その他、カット以外の事前処理は自由。

4部 Gender-free & Generation-Z ※人間モデル

- ①モデルは人間(男女は問わず)
- ②ヘアは総体的にブラント状態が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること。
- ③パーマ、カラーを施していること。

5部 クラシカルカット・ドライヤーセット

- ①モデルはメンズマネキン、トップ(頭頂部)が8cm以上あること。
- ②ヘアは総体的にブラント状態が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること。
- ③アイロン、パーマ等の形跡のない直毛であること。
- ④事前のテーパークットは不可とし、毛が梳かれてない状態であること。
- ⑤ヘアカラーは自由(但し、単一色であること)。

6部 フリーデザイン・ボブカット

- ①モデルはレディースマネキン。
- ②ネックラインが10cm以上ある水平なラインのオールワンレングスに、事前カットされていること。
- ③カットは総体的に2cm以上カットできるモデルであること。
- ④事前のテーパークットは不可とし、毛髪が梳かれてない状態であること。
- ⑤アイロン、パーマ等の形跡のない直毛であること。
- ⑥ヘアカラーは自由。

(2) 競技出場前の所定の時間に集合し、モデル審査を受けるものとする。選手受付後、ゼッケン番号を貼付したマネキンを選手がモデル審査会場に搬入し、モデル審査を受けるものとする。

マネキン競技のモデル審査会場と競技会場が異なる場合、モデル審査終了後のマネキンは実行委員により競技会場に搬入される。

(3) 頭部全体のいずれかの一部分(約2cm²)の毛髪2cmのカットをモデル審査委員より受けるものとする。

(4) 洗髪後の乾燥した状態及び毛髪を十分に濡らした状態でモデル審査を受けるものとする。

(5) マネキン設置後は、モデルと選手は接触できないものとする。

(6) メイクチェックは選手が競技時間内に行うものとする。

6. 結果発表

各部門上位3名を入賞、他に敢闘賞若干名を表彰する。

7. 派 遣

1部、2部、3部、各上位4名並びに5部上位者1名(ジュニア部門規定に合う者)を全国理容競技大会(秋田大会)に派遣する(計13名)。

その他詳細及び全国大会は組合派遣規定によるものとする。

【 競 技 要 項 】

1. 競技種目及び審査に関する事項

1部 フェード・フリースタイル

美しい色彩を主体とした、世界的なトレンドを感じさせる男性らしいフェードヘアスタイル。

1. 競技規定

(1) 競技規定

- ①カットは総体的に2cm以上行うこと(但し、刈り上げ部分はその限りではない)。
- ②モデルの骨格を考慮しバランスの良いフェードを施すこと。
- ③サイド・バック下部にはトリマー(シェーバー、レザーも可)を使用しコントラストの強い美しいグラデーションを表現すること。
- ④仕上がりは、美しい色彩を主体とした、世界的なトレンドを感じさせる男性らしいフェードスタイルであること。
- ⑤バリアート、レザーアートは施さないこと(但し、ハードパートは可)。
- ⑥競技中はスタンドクランプ等の使用は認めるが、競技終了時には必ずテーブルに固定のクランプにマネキンを装着すること。(クランプは持参すること)。
- ⑦マネキンの仕上がり審査時の角度の調整等すべては競技時間内に行うものとする。

(2) 競技時間 カット・スタイリング35分(但し、開始25分以内にスタイリングに入ってはならない)。

(3) 用 具 自由。

(4) 整 髪 料 自由。

(5) 禁止事項

- ①競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。
- ②ヘアアクセサリ、つけ毛をモデルに装着すること。
- ③カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。
- ④電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。

2. 審査の基準

- ①モデルの骨格に合ったバランスの良いフェードが施されているかをみる。
- ②サイド・バック下部にはトリマー(シェーバー、レザーも可)を使用したコントラストの強い美しいグラデーションが表現されているかをみる。
- ③仕上がりは、美しい色彩を主体とした、世界的なトレンドを感じさせる男性らしいフェードスタイルであるかをみる。
- ④バリアート、レザーアートが施されていないかをみる。

3. モデル審査

大会要項の5.モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

モデル審査において疑義のあった場合は、アテンションカードにより選手入場後、競技エリア内で伝達する。

2部 レディスカット・トレンドィアクティブスタイル

ヘアカラーを効果的に取り入れた、活動的な印象を与える実用性の高いレディスヘアスタイル

1. 競技規定

(1) 競技規定

- ①カットは総体的に2 cm 以上行うこと。
 - ②活動的な印象を与える実用性の高いヘアデザインと、モデルの個性にあわせた表現がされていること。
 - ③ヘアデザインを活かすハイトーンカラーを取り入れたヘアスタイルであること。
 - ④ダメージを感じさせない質感の表現をすること。
 - ⑤競技中はスタンドクランプ等の使用は認めるが、競技終了時には必ずテーブルに固定のクランプにマネキンを着用すること。(クランプは持参すること)。
 - ⑥マネキンの仕上がり審査時の角度の調整等すべては競技時間内に行うものとする。
- (2) 競技時間 カット・スタイリング35分(但し、開始15分以内にスタイリングに入ってはならない)。
- (3) 用 具 自由。
- (4) 整 髪 料 自由。
- (5) 禁止事項
- ①競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。
 - ②ヘアアクセサリ、つけ毛をモデルに装着すること。
 - ③カラスプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。
 - ④電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。

2. 審査の基準

- ①活動的な印象を与える実用性の高いヘアデザインと、モデルの個性にあわせた表現がされているかをみる。
- ②ヘアデザインを活かすハイトーンカラーを取り入れたヘアスタイルであるかをみる。
- ③ダメージを感じさせない質感の表現がされているかをみる。

3. モデル審査

大会要項の5.モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

モデル審査において疑義のあった場合は、アテンションカードにより選手入場後、競技エリア内で伝達する。

3部 ワールドヘア in Japan 2022 「D's」

パーマ、カラーリングを効果的に取り入れ、「D's」が提案するダンディズム&セクシーな雰囲気表現したスタイル。

1. 競技規定

(1) 競技規定

- ①カットは総体的に2 cm 以上行うこと。
 - ②「D's」が提案するダンディズム&セクシーが、モデルの個性に合わせて表現されていること。
 - ③前下がりのスタイルでパートからの立ち上がりのアップバングが表現されていること。
 - ④Dセクション(下部)はフォーマルを意識した上品な長さでダンディズムが表現されていること。
 - ⑤Sセクション(上部)はレイヤーボブを生かしたセクシーなパーマが表現されていること。
 - ⑥「D's」のデザインを活かすヘアカラーが施されていること。
 - ⑦競技中はスタンドクランプ等の使用は認めるが、競技終了時には必ずテーブルに固定のクランプにマネキンを着用すること。(クランプは持参すること)。
 - ⑧マネキンの仕上がり審査時の角度の調整等すべては競技時間内に行うこと。
- (2) 競技時間 カット・スタイリング35分(但し、開始25分以内にスタイリングに入ってはならない)。
- (3) 用 具 自由。

(4) 整髪料 自由。

(5) 禁止事項

- ①競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。
- ②ヘアアクセサリ、つけ毛をモデルに装着すること。
- ③カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。
- ④電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。

2. 審査の基準

- ①「D's」が提案するダンディズム&セクシーが、モデルの個性に合わせて表現されているかをみる。
- ②前下がりのスタイルでパートからの立ち上がりのアップバングが表現されているかをみる。
- ③Dセクション(下部)はフォーマルを意識した上品な長さでダンディズムが表現されているかをみる。
- ④Sセクション(上部)はレイヤーボブを生かしたセクシーなパーマが表現されているかをみる。
- ⑤「D's」のデザインを活かすヘアカラーが施されているかをみる。

3. モデル審査

大会要項の5.モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

モデル審査において疑義のあった場合は、アテンションカードにより選手入場後、競技エリア内で伝達する。

4部 Gender-free & Generation-Z ※人間モデル

全理連トレンド研究室から発信されている2022年トレンド情報を基にZ世代を対象とした、ジェンダーレスなシティスタイル。

※全理連のHP「組合員のページ」から入り「トレンド情報NEXT16」をチェックしてください。

(パスワードは tenbo1951)

1. 競技規定

(1) 競技規定

- ①2022年のトレンドを取り入れたヘアスタイルであり、東京の理容サロン発として消費者に評価され、売れるスタイルであること。
- ②カットは総体的に2cm以上行うこと。
- ③街を歩けるヘアデザインとファッション(衣装等)のトータル表現をすること。
- ④ヘアデザインを活かすパーマ、カラーリングをすること。

(2) モデル 男女とも可。

(3) 競技時間 カット、スタイリング30分。

(4) 用具 自由。

(5) 整髪料 自由。

(6) 禁止事項

- ①競技準備時間中及び競技終了後にモデルの頭部に触れること。
- ②フロンガス入りスプレーを使用すること(フロンガス以外は可)。

(7) その他 仕上がり審査時のモデルは、着席の有無に関わらずポージングは自由とする。

2. 審査の基準

- ①2022年のトレンドヘアスタイルであるかをみる。
- ②今年のテイストとモデルに似合わせたヘアデザイン・カラーであるか、また、そのヘアスタイルとファッションのトータルバランスが合っているかをみる。

③東京の理容サロン発として消費者に評価され、売れるヘアスタイルであるかをみる。

④女性・男性問わず提案出来るスタイルであるかどうかをみる。

3. モデル審査

大会要項の5. モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

5部 クラシカルカット・ドライヤーセット

クラシカルスタイルに梳かされ、シルエットは全体にスクエアラウンドであり、後頭下部に十分な刈り上げ（ボカシ）があり、耳周りおよびネックラインがはっきりついているスタイル。

1. 競技規定

(1) 競技規定

①モデルはマネキン（メンズウィッグ）であり、毛髪の長さはトップ（頭頂部）が8 cm以上あること。

②カットは総体的に2 cm以上行うこと。

③アイロン・パーマ等の形跡のない直毛であること。

④事前のテーパーカットは不可とし、毛髪が梳かれていない状態であること。

⑤ヘアカラーは自由（但し、単一色であること）。

(2) 競技時間 45分（但し、25分以内にセットに入ってはならない）。

(3) 用具 自由（但し、アイロンは除く）。

(4) 整髪料 自由。

(5) 禁止事項

①アイロン及びコームドライヤーの使用。

②ヘアカラー以外の薬液処理。

③マネキンに目印等を付けること。

④理容師免許取得6年以下（平成28年4月以降に免許を取得した者）でない場合。

⑤その他全国大会種目における禁止事項

2. 審査の基準

①シルエットはスクエアラウンドで、クラシカルスタイルにとかされているかをみる。

②後頭下部に十分な刈り上げ（ボカシ）があり、はっきりとしたネックラインがあるかをみる。

（ツープロックは不可）

3. モデル審査

大会要項の5. モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

6部 フリーデザインボブカット

段差のないボブスタイルで、カットラインとバランスの美しさを表現する

1. 競技規定

(1) 競技規定

①モデルはマネキン（レディスウィッグ）。

②ネックラインが10 cm以上ある水平なラインのオールワンレングスに、事前カットされていること。

③カットは総体的に2 cm以上行うこと。

④事前の前髪を作ること及びテーパーカットは不可とし、毛髪が梳かれてない状態であること。

⑤アイロン、パーマ等の形跡のない直毛であること。

⑥ヘアカラーは自由。

⑦ツープロック不可。

(2) 競技時間 カット・セット45分(時間配分は自由)。

(3) 用具 自由(但し、セニングシザー不可、
セット用具はコーム、ブラシ、ハンドドライヤー、ストレートアイロンのみとする)。

(4) 整髪料 一切不可。

(5) アウトバストリートメント可。

(6) 禁止事項

①ヘアカラー以外の薬液処理がされている場合もしくは行った場合。

②整髪料を使用すること。

③マネキンに目印等を付けること。

④理容師免許取得6年以下(平成28年4月以降に免許を取得した者)でない場合。

⑤その他全国大会種目における禁止事項

2. 審査の基準

①バランスの良い綺麗なカットのスタイルであるかをみる。

②美しいボブスタイルをセットで仕上げているかをみる。

3. モデル審査

大会要項の5. モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

2. 刈布・タオルの取り扱い

刈布、タオルの使用は自由(但し、4部は人間モデル競技のため刈布、タオルは必ず使用すること)。
使用する場合は競技開始の合図後につけること。

3. 失格事項(各部門共通)

次に掲げる項目に該当する場合は失格とする。

(1) 所定の技術及び髪型に適合しない場合。

(2) 競技時間を超過した場合。

(3) 所定の用具、整髪料以外のものを使った場合。

(4) 競技終了後、修正を行った場合。

(5) モデル審査を受けていないマネキンを使った場合。

(6) 各部門競技の禁止事項を守らない場合(但し、適正な処置を施した場合を除く)。

(7) 競技完了の表示を行わなかった場合。

(8) 監視委員の指示に従わなかった場合。

4. タイム及び競技完了の表示(各部門共通)

(1) タイムは10分毎に知らせ、最後の10分間は(10分前、5分前、3分前、2分前、1分前、30秒前、20秒前、10秒前、5、4、3、2、1、タイム)と知らせる。

(2) 各部門ともすべて競技完了の表示は、一步後方に退いた後、手を挙げて行うこと。刈布、タオルを使用した場合(4部競技のみ必ず使用)は、モデルから刈布、タオルを完全にとりはずしてから一步後退し、挙手すること。

【選手の留意事項】

1. 選手は大会の主旨をよく理解し、競技の勝敗にとらわれることなく、理容業の本質をわきまえ、消毒衛生の遂行並びに容姿、態度等に十分留意すること。
2. 選手は大会要項及び競技事項に定められた事項を遵守すること。
3. 選手は競技事項にもとづく用具のほか、刈布、ネックシャッター、タオルを使用する場合は持参すること。
4. モデルは競技出場前の所定の時間に集合しモデル審査を受けなければならない。
5. モデル審査の結果に不服のある選手は、出場を取り消す場合がある。
6. 選手の椅子番号は大会当日、発表する。
7. 選手は清潔なヘアスタイル、清潔なユニフォーム(色は自由、但し店名・個人名が入っていないこと)を着用し、清潔な器具、礼儀正しい態度を守らなければならない。
8. 競技出場前の所定の時間にマネキンを持参又はモデルを帯同し、選手受付を済ませること。
9. 選手の器具等の事故は、選手の責任とする。
10. 選手は競技中に手首から指先に一切の付属品を付けないこと。但し、取り外すことが困難な場合は競技会場において技術監視委員又は技術審査委員に申告すること。
11. 器具は床の上に置かないこと。
12. 競技中に時計(タイマー)を使用する場合は、アラーム等、音を出さないこと。
13. ドライヤーは1000w以下とすること。
14. 選手が使用出来る電源口(コンセント)は一つとする。
15. 選手受付及びモデル審査に遅刻した場合は減点する。
16. 持参器具等の管理に留意すること。盗難等の場合、主催者側では責任を負いませんので各自が責任を持つこと。
17. 各部門の事前審査は頭部を水スプレーにて充分濡らして行う。
18. 審査の結果に対し一切の異議を申し立てないこと。
19. 理容業の消毒衛生に基づき、選手は競技中に用具を落とした場合、挙手をし、監視委員の指示に従うこと。
22. 審査は衣装を着用しない状態でおこなうので衣装は持参しないこと。
23. マネキンモデル競技の場合も、選手はマネキンモデルを人間モデル同様と考え、通常人間モデルでは行わない行為は慎むこと。
24. マネキン競技出場については以下の制限を定める。

5・6部：理容師免許取得6年以下の者（平成28年4月以降に免許を取得した者）

各部門、フロンガス入りスプレーの使用を禁止する。

カラスプレー、カラーパウダー及び、それに類似するものの使用は禁止する。

※会場仕様

- 競技に於いては持参したクランプ使用する。
- 電源タップ（1000W以内）使用可能。

※後日、出場資格違反が判明した場合は、入賞者の栄誉を剥奪され、その際選手の異議は受け付けません。
この場合次点選手が繰上げ入賞となり、E・t・o・c・oタイムス紙上に公表いたします。

問い合わせ先

東京都理容生活衛生同業組合

メール：kyoiku@tokyo-riyo.or.jp

☎161-0033 東京都新宿区下落合 4-26-7 ☎ 3954-8291 FAX3954-8331